科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
英語 I English I		1年	前期	金曜日・4時限 (1年CDクラス) 金曜日・5時限 (1年ABクラス)
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堤 裕美子	講義棟3階	木曜・金曜日9:00~18:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
これまで学習した英語力の活性化を図り、実践に役立つ英語力を養うために、日常英会話を教材として、中学・高校レベルの文法事項を復習しながら、聴き取りの力と話す力を伸ばすための授業を行います。				
授業の到達目標				
①英語の発音記号を読み、正しい発音ができるようになること ②英語の聞き取りのコツ(音法14ルール)を覚えること ③テキスト添付CDを聞き、課題の会話を繰り返し聴いて暗記し、実践の場で使えるようになること				
授業の方法				
基本事項の学習以降は1課を2週間で学習します。1週目はインプット(入力)クラスで、モデル会話の文法や発音の注意点などを確認します。2週目までに指定された会話をCDを聴いて覚え、2週目の授業はアプトプット(出力)クラスとして、覚えてきた会話をペアワークやグループワークで実際に使う練習をします。2回の発表試験を行い、自分の発表を見て振り返りを行うことで、学習達成度の確認をし、個々人でそれぞれの実力に合った学習目標を設定し、授業の中でその到達を目指して能動的に授業に取り組んでいきます。				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは①日常会話表現を覚えることができる。②英語らしい発音のコツを学ぶことで、覚えた会話表現を誰にでも通じる正しい発音で話せるようになる。③表現を覚え、正しい発音を身につけることで、複雑な英語の音も聴き取れるようになる。④授業内で覚えた会話文を実際に使う練習をすることで、国際的に広く認識されているジェスチャーなども身につけることができる。(例：握手をするタイミングや手の握り方、握った手の振り方の地域的な違いなど)⑤誰とでもフレンドリーに接するコツを身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明(授業の方針、進め方、評価方法等の説明)			
第2回目	基礎事項の学習：発音記号母音			
第3回目	基礎事項の学習：発音記号子音			
第4回目	基礎事項の学習：英語のリズム			
第5回目	基礎事項の学習：音法(英語の聴き取りのコツ)			
第6回目	Unit 1: Icebreaking インプットクラス(文法・意味・音法の確認)			

第7回目	Unit 1: Icebreaking アウトプットクラス(ペアワークによる会話練習)		
第8回目	中間テスト		
第9回目	ふりかえり		
第10回目	Unit 2: Describing People(Character) インプットクラス		
第11回目	Unit 2: Describing People(Character) アウトプットクラス		
第12回目	Unit 3: Describing People(Appearance) インプットクラス		
第13回目	Unit 3: Describing People(Appearance) アウトプットクラス		
第14回目	まとめと発表試験(講評と自己評価)		
第15回目	まとめと筆記試験(答え合わせ・解説など)		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	毎回の授業で英語を発話する機会がある。各授業における課題は毎回明確にするので、それを達成するために授業内外で努力しているのかを評価する。
レポート			
調査報告書		10%	発表試験はペアで行うため、試験日までの1週間で個別・共同練習の成果をセルフチェックする練習報告書を配布する。試験当日に回収し、授業外での取り組みを評価する。
小テスト		20%	授業では筆記・または発表形式の小テストを毎回実施する。合格ラインを明確に指示するので、それに達する努力を学期を通じて行なったかどうかを点数と共に評価する。
中間・学期末試験		40%	発表試験20%、筆記試験20%で評価する。
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
Communication Builder(南雲堂) 2100円(本体)			
履修上の心得・ルール			
暗記は最初は大変ですが、英語が聴き取れる喜び、すらすら話せる楽しさは最高です。実力に応じて達成目標を設定して、励まし助け合いながら、頑張りましょう。また、個性を活かした上で国際社会でも誇りをもって行動できるマナーもしっかり身につくよう、授業における各自の自覚を希望します。			

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
英語 I English I		1年	前期	別途時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修 (選択・保育士必修、教職課程必修 (幼稚園教諭2種))	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
堤 裕美子		講義棟3階	木曜・金曜日9:00~18:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します
授業の概要				
これまで学習した英語力の活性化を図り、実践に役立つ英語力を養うために、日常英会話を教材として、中学・高校レベルの文法事項を復習しながら、聴き取りの力と話す力を伸ばすための授業を行います。				
授業の到達目標				
①英語の発音記号を読み、正しい発音ができるようになること ②英語の聞き取りのコツ (音法14ルール) を覚えること ③テキスト添付CDを聞き、課題の会話を繰り返し聴いて暗記し、実践の場で使えるようになること				
授業の方法				
基本事項の学習以降は1課を2週間で学習します。1週目はインプット (入力) クラスで、モデル会話の文法や発音の注意点などを確認します。2週目までに指定された会話をCDを聴いて覚え、2週目の授業はアプトット (出力) クラスとして、覚えてきた会話をペアワークやグループワークで実際に使う練習をします。2回の発表試験を行い、自分の発表を見て振り返りを行うことで、学習達成度の確認をし、個々人でそれぞれの実力に合った学習目標を設定し、授業の中でその到達を目指して能動的に授業に取り組んでいきます。				
学習の成果				
この授業を履修すると、あなたは①日常会話表現を覚えることができる。②英語らしい発音のコツを学ぶことで、覚えた会話表現を誰にでも通じる正しい発音で話せるようになる。③表現を覚え、正しい発音を身につけることで、複雑な英語の音も聴き取れるようになる。④授業内で覚えた会話文を実際に使う練習をすることで、国際的に広く認識されているジェスチャーなども身につけることができる。(例：握手をするタイミングや手の握り方、握った手の振り方の地域的な違いなど) ⑤誰ともフレンドリーに接するコツを身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明 (授業の方針、進め方、評価方法等の説明)			
第2回目	基礎事項の学習：発音記号母音			
第3回目	基礎事項の学習：発音記号子音			
第4回目	基礎事項の学習：英語のリズム			
第5回目	基礎事項の学習：音法 (英語の聴き取りのコツ)			
第6回目	Unit 1: Icebreaking インプットクラス (文法・意味・音法の確認)			

第7回目	Unit 1: Icebreaking アウトプットクラス (ペアワークによる会話練習)		
第8回目	中間テスト		
第9回目	ふりかえり		
第10回目	Unit 2: Describing People (Character) インプットクラス		
第11回目	Unit 2: Describing People (Character) アウトプットクラス		
第12回目	Unit 3: Describing People (Appearance) インプットクラス		
第13回目	Unit 3: Describing People (Appearance) アウトプットクラス		
第14回目	まとめと発表試験 (講評と自己評価)		
第15回目	まとめと筆記試験 (答え合わせ・解説など)		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		30%	毎回の授業で英語を発話する機会がある。各授業における課題は毎回明確にするので、それを達成するために授業内外で努力しているのかを評価する。
レポート			
調査報告書		10%	発表試験はペアで行うため、試験日までの1週間で個別・共同練習の成果をセルフチェックする練習報告書を配布する。試験当日に回収し、授業外での取り組みを評価する。
小テスト		20%	授業では筆記・または発表形式の小テストを毎回実施する。合格ラインを明確に指示するので、それに達する努力を学期を通じて行なったかどうかを点数と共に評価する。
中間・学期末試験		40%	発表試験20%、筆記試験20%で評価する。
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
Communication Builder (南雲堂) 2100円 (本体)			
履修上の心得・ルール			
暗記は最初は大変ですが、英語が聴き取れる喜び、すらすら話せる楽しさは最高です。実力に応じて達成目標を設定して、励まし助け合いながら、頑張りましょう。また、個性を活かした上で国際社会でも誇りをもって行動できるマナーもしっかり身につくよう、授業における各自の自覚を希望します。			

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
英語 I English I		1年	前期	木曜日・3時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
櫻井裕子	非常勤講師 室	木曜日12:30~16:00ま で(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要 名作映画のDVDを使用し、映画中の日常表現や名セリフを教材として、リスニング及びスピーキング中心の演習を行う。訳読方式を取らず、なるべく文字に頼らないで、音声を重視する授業。随時、英語の手遊び・歌などを組み入れることがある。				
授業の到達目標 映画の中の基本的表現を理解し、スピードに遅れず聴き取ることができるようにする。また、その表現を自分なりに明瞭な声で、より通じる発音で表現できるようにする。				
授業の方法 演習。その構成は ①映画を視聴しながら聴き取る②内容理解と発音練習③毎時間の一人ずつ行う小テスト である。				
学習の成果 ①通常のスピードで話される映画の中の会話表現を少しずつでも聞き取れるようになる。②一般の英会話教材とは違う、ストーリーの流れの中での感動的な言葉に出会うことができる。③実際に自分の声を出して英語の発音をすることに慣れることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス。Rilo & Stitch ① 聴き取り、内容理解及び発音練習。			
第2回目	小テスト。Rilo & Stitch ② 聴き取り、内容理解及び発音練習。			
第3回目	小テスト。Rilo & Stitch ③ 聴き取り、内容理解及び発音練習。			
第4回目	小テスト。Rilo & Stitch ④ 聴き取り、内容理解及び発音練習。			
第5回目	小テスト。 I am Sam ① 聴き取り、内容理解及び発音練習。			
第6回目	小テスト。 I am Sam ② 聴き取り、内容理解及び発音練習。			

第7回目	小テスト。 I am Sam ③ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第8回目	小テスト。 I am Sam ④ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第9回目	小テスト。 The Bodyguard ① 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第10回目	小テスト。 The Bodyguard ② 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第11回目	小テスト。 The Bodyguard ③ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第12回目	小テスト。 The Bodyguard ④ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第13回目	小テスト。 The Bodyguard ⑤ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第14回目	小テスト。手遊び、歌など。		
第15回目	小テスト及びレポート、その評価と解説。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度	20%	映画の英語聴き取りに真剣に集中する。よい姿勢でよく声を出して発音練習する。	
レポート	20%	最終回及び時に応じて書くレポートが指示を十分に満たしている。	
調査報告書			
小テスト	60%	毎時間の一人ずつのオーラル中心の小テストが十分な音量でできる。内容をよく理解している。	
中間・学期末試験			
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教員作成の教材を配布する。			
履修上の心得・ルール			
良い英語発音のために、毎回良い姿勢を取り、表情筋トレをするので、積極的に活動すること。使用映画は、学生の希望により変更することができる。			